

## What Can Blood Type Tell Us?

### Part 1

"Can you guess my blood type?"

単語) guess 「推測する、推測」 ※発音注意 /ges/ 「ゲス」

blood 「血液」 ※発音注意 /blʌd/ 「ブラッド」

訳) あなたは私の血液型を推測できますか？(私の血液型わかる？(当ててみて))

"Well, you're a very serious person, so I think your blood type is A."

単語) well 「えっと」

serious 「まじめな、きまじめな」 ※発音注意 /sɪəriəs/ 「シアリアス」

so 「なので、だから、とても、非常に、そう」

訳) あなたはとてもまじめな人だから、私はあなたの血液型はA型だと思います。

"Wow! Good guess!"

訳) ワー、いい推測だね！(当たってる！)

This is a common conversation in Japan.

単語) common 「普通の、よくある、ありふれた」

conversation 「会話、おしゃべり」

訳) これは日本ではよくある会話です。

Talking about a person's blood type is very popular among many Japanese people.

文法) 動名詞(動詞の-ing 形) 「～すること」の意味で名詞の働きをする。

動名詞は、文の補語や主語、目的語、そして前置詞の目的語となるという名詞的な性質を持っています。また、目的語を続けたり、副詞で修飾されるという動詞的な性質も持っています。

単語) among 「(3人・3つ以上)の間に、～の間で」 ※発音注意 /əˈmʌŋ/ 「アマング」

訳) 人の血液型について話すことは多くの日本人の間でとても人気があります。

They like judging a person's personality by his or her blood type.

文法) 動名詞(動詞の-ing 形) 説明省略

単語) judge 「判断する、推定する」

personality 「人格、人柄、個性、性格」

訳) 彼ら(日本人)は彼または彼女の血液型で人の性格を判断するのが好きです。

Many books about this topic become best-sellers every year.

単語) topic 「話題、トピック」

訳) この話題に関する多くの本が毎年ベストセラーになります。

People often find articles about it in magazine.

単語) often 「しばしば、たびたび」※発音注意/ɔ:f(ə)n/ 「オープン」 「t」は発音しない方が優勢ですが、発音することもあります。

article 「記事」

訳) 人々はたびたび雑誌でそれ(血液型)に関する記事を見つけます。

Many Japanese people think that blood type has something to do with their personality.

文法) 構文把握

主語

動詞 接続詞

文全体の目的語

Many Japanese people think that blood type has something to do with their personality.

S + V + O の第3文型「SはOを～する」

目的語内の構造

省略可

主語

動詞

目的語

形容詞の用法

副詞

(that) blood type has something to do with their personality.

熟語) have something to do with ～「～と関係がある」

訳) 多くの日本人は、血液型は個性と関係があると思っています。

However, in most other countries, blood type is not a common topic.

単語) however 「しかし、けれども」

訳) しかし、大部分の他の国では、血液型はよくある話題ではありません。

A lot of people think it is nonsense to judge personality by blood type.

文法) 不定詞(to + 動詞の原形)

名詞「～すること」、形容詞「～する…」、副詞「～するために、～して」の働きをする。

文法) 構文把握

主語

動詞

目的語

A lot of people think it is nonsense to judge personality by blood type.

S + V + O の第3文型「SはOを～する」

目的語内の構造(形式主語)

不定詞句や that 節が主語として用いられる場合、主語の位置に「it」を形式的に主語として置き、真の主語である不定詞句や that 節を動詞の後ろに回すことです。

形式主語 動詞

補語

真の主語

it is nonsense to judge personality by blood type.

主語

動詞

補語

→ To judge personality by blood type is nonsense.

英語は主語が長くなることを避けるという特徴があるので、このようなことをします。

単語) nonsense 「ばかげたもの、ばかげた考え」

訳) 多くの人は血液型で個性を判断することはばかげたことだと思っています。

## Part 2

Why do Japanese people like judging personality by blood type?

文法) 動名詞(動詞の-ing 形)「～すること」の意味で名詞の働きをする。 説明省略

訳) なぜ日本人は血液型で性格を判断することが好きなのでしょう?

There are two possible reasons for this.

単語) possible 「考えられる、あり得る」

訳) これには2つの考えられる理由があります。

One reason is the distribution of blood types in Japan.

単語) distribution 「分配、配給、分布」

訳) 1つの理由は日本の血液型の分布にあります。

Japan has a more even distribution of blood types than other countries.

単語) even 「均等な、等しい」

訳) 日本は他の国々よりずっと血液型分布が均等です。

Take a look at the data below.

文法) 名詞構文

動詞や形容詞を名詞にして、文に等しい内容をその名詞を中心に表すことをいいます。

「動詞 + a/an + 名詞」で1つの動詞のように働きます。have、take、make、getなどがよく使われます。

have a chance (見込みがある)                      take a look (見る)    make a wish (願う)

get a call (電話をもらう)                      take a break (休憩する)

単語) below 「下に、下記に」

訳) 下記のデータを見て下さい。

Each blood type is found in a range of 9 - 38%(percent) of the population.

文法) each と every は単数扱い

「each」は「それぞれの」という意味です。「each blood type」は「それぞれの血液型」となり複数の印象を受けるかもしれませんが、それぞれの人・物、つまり個人、個別のものと捉えるので「単数扱い」になります。もし「each」が複数扱い(some や many と同じ)だったら、「types」となっていなければなりません。また、動詞「is」は主語が単数だからです。

単語) find 「分かる」

range 「範囲」※発音注意/reɪn(d)ʒ/ 「レンジ」

percent 「パーセント」※基本的に単数形で使います。

訳) それぞれの血液型は人口の9-38パーセントの範囲内にあることが分かりました。

So it is easy to group personalities into four groups by blood type.

文法) 不定詞(to + 動詞の原形)

名詞「～すること」、形容詞「～する…」、副詞「～するために、～して」の働きをする。

文法) 形式主語 説明省略

So it is easy to group personalities into four groups by blood type.

→ So <sup>真の主語</sup> to group personalities into four groups by blood type <sup>動詞 補語</sup> is easy.

単語) group (動)「集める、分類する」

group(s) (名)「集団、グループ」

訳) 血液型で4つのグループに性格进行分类することは簡単です。

On the other hand, in other countries, the distribution of blood types is not very even.

文法) be 動詞

省略, the distribution of blood types is not very even.

複数形なのに「is」でいいのでしょうか？この文の主語は「the distribution」です。それぞれの血液型の割合をひとまとめにした結果の「the distribution」なので、「単数扱い」ということになります。be 動詞の直前に複数形があるからといって、それにだまされないようにして下さい。

単語) very 「まったくの、まさに、本当の」

熟語) on the other hand 「(その) 一方で」

訳) 一方で、他の国々では、血液型の分布はまったく等しいわけではありません。

The rates for some blood types are very high or very low.

単語) rate 「割合、レート」※発音注意/ret/ 「レイト」「a」は二重母音

訳) いくつかの血液型の割合はとても高いかとても低いからです。

For example, in Bolivia, 93% of people have type O blood.

熟語) for example 「例えば」

訳) 例えば、ボリビアでは93%の人々はO型です。

In such countries, it is difficult to judge personality by blood type.

文法) 不定詞(to + 動詞の原形)

名詞「～すること」、形容詞「～する…」、副詞「～するために、～して」の働きをする。

文法) 形式主語 説明省略

In such countries, <sup>真の主語</sup> to judge personality by blood type <sup>動詞 補語</sup> is difficult.

単語) such 「そのような、そんな」

訳) そのような国々では、血液型で性格を判断することは難しいことです。

Part 3

In Japan, most people know their blood types, so it is easy for them to talk about them.

文法) 不定詞(to + 動詞の原形)

名詞「～すること」、形容詞「～する…」、副詞「～するために、～して」の働きをする。

文法) 形式主語 説明省略

so <sup>真の主語</sup> to talk about them <sup>動詞</sup> is <sup>補語</sup> easy for them.

注意) them に注意してください。

so it is easy for <sup>Japanese</sup> them to talk about <sup>their blood types</sup> them.

訳) 日本では、ほとんどの人々が自分たちの血液型を知っているので、日本人にとって自分たちの血液型について話すことは簡単です。

This is the other reason.

訳) これは他の理由があります。

In other countries, many people do know know their blood type.

訳) 他の国々では、多くの人々は自分たちの血液型を知りません。

In fact, they first learn about them when they need a blood transfusion.

注意) they/them に注意してください。

In fact, <sup>people in other countries</sup> they first learn about <sup>their blood types</sup> them when <sup>people in other countries</sup> they need a blood transfusion.

単語) learn 「知る、理解する」

transfusion 「輸血」

熟語) in fact 「実際に」

訳) 実際に、彼らは輸血が必要な時に初めて自分たちの血液型について知ります。

If you ask a person from the United States or Europe, "What's your blood type?" he or she may say, "Why do you want to know? Are you a doctor? Only doctors want to know that."

文法) 不定詞(to + 動詞の原形)

名詞「～すること」、形容詞「～する…」、副詞「～するために、～して」の働きをする。

文法) 助動詞 may 「～かもしれない」という推量を表しています。

訳) もしあなたがアメリカやヨーロッパから来た人に、「あなたの血液型は何型ですか？」と聞くと、彼または彼女(質問された人)は、「なぜ(私の血液型を)知りたいのですか？あなたは医者ですか？医者だけがそれ(血液型)を知りたいのではないですか。」と言うかもしれません。

If people do not know their blood types, they will not use blood type to judge personality.

文法) 不定詞(to + 動詞の原形)

名詞「～すること」、形容詞「～する…」、副詞「～するために、～して」の働きをする。

訳) もし人々が自分たちの血液型を知らなくても、彼らは性格を判断するために血液型を使わないでしょう。

Part 4

For these two reasons, blood type is a popular way to judge personality in Japan.

文法) 不定詞(to + 動詞の原形)

名詞「～すること」、形容詞「～する…」、副詞「～するために、～して」の働きをする。

単語) for 「～のために、～の理由で」

way 「方法、やり方」

訳) これら 2 つの理由で、血液型は日本で性格を判断するのに人気のある方法です。

Interestingly, we also see this in South Korea.

単語) interestingly 「おもしろいことには」

訳) おもしろいことには、私たちはこれ（血液型性格判断）を韓国でも見ます。

There is an even distribution of blood types there, and most people know their blood types.

文法) there に注意してください。

～があります

そこに (の) (=韓国)

There is an even distribution of blood types there, and most people know their blood types.

訳) そこは血液型分布が均等で、ほとんどの人々が自分たちの血液型を知っています。

Also, people there are very interested in judging personality by blood type.

文法) 動名詞(動詞の-ing 形)

「～すること」の意味で名詞の働きをする。

文法) there に注意してください。

そこの人々

○ Also, people there are very interested in judging personality by blood type.

～があります

× Also, people there are very interested in judging personality by blood type.

単語) also 「そしてまた、それに」

熟語) be interested in A 「A に興味があります」

訳) それに、そこの人々は血液型で性格を判断することにとっても興味があります。

What do scientists think?

単語) scientist 「科学者」

訳) 科学者はどう思っているのでしょうか？

Most scientists believe that there is no relationship between blood type and personality.

構文把握)

主語

動詞

接続詞

文全体の目的語

Most scientists believe that there is no relationship between blood type and personality.

S + V + O の第 3 文型「S は O を～する」

## 目的語内の構造

省略可          動詞          主語  
(that) there is no relationship between blood type and personality.

単語) believe 「信じる、思う」  
relationship 「関係、関連」

熟語) between A and B 「A と B 両方」

訳) ほとんどの科学者は、血液型と性格には関連はないと思っています。

Some scientists researched the relationship, but they could not find any scientific evidence.

単語) research 「研究する、調査する」  
scientific 「科学的な」  
evidence 「証拠、根拠」

訳) 何人かの科学者が関係性を調査しましたが、彼らは科学的な証拠を発見することはできませんでした。

Yet some Japanese people still think that blood type is an interesting topic.

構文把握)

主語          動詞          接続詞          文全体の目的語  
(Yet) some Japanese people (still) think that blood type is an interesting topic.

S + V + O の第 3 文型 「S は O を～する」

## 目的語内の構造

省略可          主語          動詞          補語  
(that) blood type is an interesting topic.

単語) yet 「けれども、それにもかかわらず」

訳) それにもかかわらず、日本人の中にはまだ血液型は面白い話題だと思っています。

Do you think that blood type can tell you something about your personality?

文法) 助動詞 can 「～はありうる」と言う可能性があることを表しています。

構文把握) 分かりやすくするために、肯定文にします。

主語          動詞          接続詞          文全体の目的語  
(Do) You think that blood type can tell you something about your personality.(?)

S + V + O の第 3 文型 「S は O を～する」

## 目的語内の構造

省略可          主語          動詞          目的語 1          目的語 2  
(that) blood type can tell you something about your personality. (?)

文法) tell A B 「A に B を話す、教える、示す」

訳) あなたは血液型があなたにあなたの個性について何か教えてくれることがあると思いますか？



G-1 動名詞(動詞の-ing 形)

「～すること」の意味で名詞の働きをする。

- a. Sleeping on a futon is still popular in Japan. (主語)
- b. Taro's hobby is listening to rap music. (be 動詞の補語)
- c. A lot of British people like playing football. (動詞の目的語)
- d. Dick is very good at using chopsticks. (前置詞の目的語)

G-2 不定詞(to + 動詞の原形)

名詞「～すること」、形容詞「～する…」、副詞「～するために、～して」の働きをする。

- a. It is important to know different cultures. (名詞的用法)
- cf. To know different cultures is important.
- b. Yuki wants to see the new American movie. (名詞的用法)
- c. This is the best book to understand English poems. (形容詞的用法)
- d. Judy came to Japan to study Japanese culture. (副詞的用法)